

海外派遣留学プログラム報告書

(報告期間：2019/08/27 ～2019/09/30)

1. 勉学の状況

University of Wisconsin, Milwaukee (以下UWM) では College of Letters and Science (日本でいう学部のようなもの) の Physics major として授業をとっています。基本的に、Exchange student は J1 ビザを失効させないために、各セメスター最低 12 単位 (院生は 8 単位) をとらなければなりません。また、UWM の単位上限として最高 18 単位まで履修登録することができます。Fall セメスターに開講される授業がウェブに公開されたのは確か 5 月ごろ。人気の高い授業は早く定員がうまるようですが、自分の学科は全く問題がありませんでした。日本にいながら、これとこれとこれをとろう～、と計画を立てていたわけですが、最終的に確定した日課表は全く違うものです。千葉大学と同じように、2 週間ほどは履修の登録を変更できるため最後まで悩むことができます。最終的には、英語の授業 4 単位、物理関係 10 単位、その他 3 単位の計 17 単位になりました。

<専門の授業>

これは理系の専門全般に言えることかもしれませんが、いわゆるペーパーテストに関して、学生のレベルは日本のほうが高いです。ルームメイトに聞いた話では、アメリカのテストでは数学の公式は与えられるのが普通で覚える必要がないのだとか… 最初のクラスで、教授が円の面積の公式から始めたときは正直驚きました (日本では小学校で習う!)。しかしながら、教授の面倒見の良さはとても良いです。授業ではとても丁寧に説明をし、毎週課題とそれに対するフィードバックくれます。また、オフィスアワーとして教授が生徒の質問に答えるための時間を設けてくれており、気軽に質問にいけるのも優れているなと感じています。せっかくの機会を最大限いかそうと思い、大学院の科目もとっています。わからないところは積極的に質問にいて、教授との距離を縮められたらと思います。

<授業外>

日本のころに比べてゆるくなりそうだったので、大学院の科目を 2 つ聴講しています。これはオフレコになりますが、UWM としては Exchange student に対し、いわゆる“聴講”を認めていません。でも、教授に直接掛け合えばなんとかなることがわかりました。興味あるけどついていけるかわからない、両立できるかわからないというときにはいいと思います。刺激をもらえる時間ですし、時間が許す限りは続けるつもりです。同じ理由で、研究セミナーなどにも顔をだすようにしています。正直、こちらは英語面でも専門知識でも自分のレベルを超えていましたが、来るものは拒まないアメリカのオープンさに甘えて挑戦したいとおもいます。学生団体のことはまた次の機会に書いてみたいと思います。

2. 生活の状況

ここまでかなりいい子ぶってきましたが、アメリカでの生活もきちんと楽しんでます（笑）この1ヶ月は波があつて、とてもあつという間に過ぎていきました。

<日常>

オンキャンパスの寮の2人部屋に住んでいます。ルームメイトは地元の子で、こちらの不自由な英語にも耳を傾けてくれるとても良い人でした。キッチン、冷蔵庫、シャワー、トイレは6人で共用するかたちです。

平日は授業が日によって9時半~15時くらいで日本よりも時間は短いです。が、課題の量は多いのでそのまま図書館に行くことが多いです。食事については、値段でいうと、外食>寮のカフェ>自炊という感じなので、朝と昼はサンドイッチやシリアルを自分で用意するようにしています。まだあまり外食していないので、余裕ができてきたら、開拓してみたいです。



寮の部屋

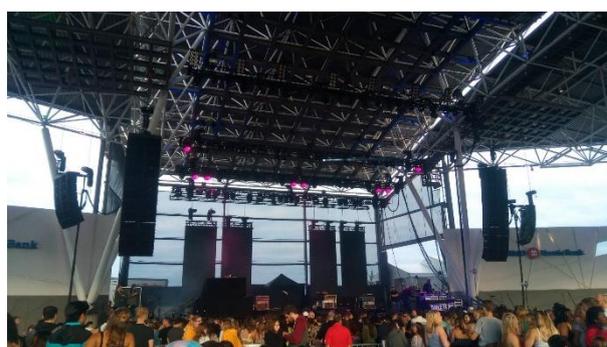


ハンバーガーは日本より肉厚！

週末は、洗濯を回したり買い出しにいたりします。あとはイベントに参加したり、友達と遊んだり、クイズに備えたり。なるべくやりたいことをするようにしています。

<Fall Welcome>

アメリカは9月はじまりなので、日本でいう新入生歓迎のイベントがたくさんあります。9月上旬はメジャーリーグ観戦ツアーやボートツアー、さらには音楽ライブまで、さすがはアメリカだなと感じざるをえませんでした。（アメリカの学費が高い理由がわかった気がします。）



海外派遣留学プログラム報告書

(報告期間：2019/10/01 ～2019/12/31 <中間月>)

1. 勉学の状況

先日、最後の Final Exam を終え 1 ヶ月ほどの冬休みに入りました。留学生活ももうすぐ折り返しということで、この 1 学期を振り返ってみたいと思います。

10 月は新入生歓迎のムードが終わり、徐々に 1 週間のリズムが固まってきたように感じます。授業はほぼ毎週決まって宿題がでました。大変ですが、中間試験と期末試験の比率が軽くなるという良い面もあります。友達との距離が縮まってきたのも 10 月の後半ごろからだったような気がします。

10 月の終わりから 11 月の頭にかけてはとにかく忙しかったです。毎週のように中間試験があり、どのような試験なのだろうと不安に思っていた記憶があります。自分が履修していた物理や数学のクラスでは論述式でしたが、マークシート形式のクラスも一般的だそうです。ちゃんとシラバスをチェックすることをおすすめします。聴講していた 2 つの授業のうち片方をあきらめたのもこの時期だったような気がします。また、Office Hour を利用して距離が近くなった先生と一緒に研究活動をすることができるようになりました。UWM では、多くの学生が学部 4 年になる前から、Undergraduate Research として単位を取得しながら研究に参加しています。前回の報告書で、勉強における知識では千葉大学の学生のほうがまっさかっていると書きましたが、研究における実践的な力ではかなわない部分があるなと感じました。さすがは研究業界で世界をリードするアメリカです。来学期は自分も単位として登録してこれをつけていくつもりなので、少しでも吸収していけたらと思います。

12 月は期末試験が大きなイベントでした。授業は 12 月の 2 週目で終わりになり、3 週目が期末テストの週になります。履修していたクラスは無事通過することができました。試験前の図書館が混むのは千葉大学と同じですね。(ただ、こちらは普段から平日は 24 時間空いています！)

今学期は 17 単位を登録していましたが、来学期は授業以外のことにもっと時間を使いたいと感じたので少し減らす予定です。

2. 生活の状況

日本の大学と大きく違うなというところは、学生たちが良い意味できちんと遊ぶための環境をサポートしている点です。個人的意見ですが、日本の大学というと大学側は勉強第一のサービスを提供して、それを妨げるものに対してはよい顔をしていない印象があります。(こちらに来てそう感じるようになりました。)一方で、UWM は学内に無料のジムや映画館がありますし、深夜における無料タクシー&シャトルバスを学生に提供しています。大学が企画するアウトドア企画やイベントも多いです。大学生活が“すべての学生”(勉強第一でない

人も含めて)にとって実りあるものになるために、お金をつかっているんだなという気がします。日本で同じことをやったら税金の無駄遣いなどといわれてしまいそうですが(笑)。お国柄が表れていて面白いなと感じます。(教授も定時に帰り、土日は仕事をしない人が多いですね。)

こちらにきてから大きく3つの holiday (Halloween, Thanksgiving, Christmas) を経験したので、それらについて書いてみたいと思います。

- ・ Halloween

自分は大きな町出身ではないので、きちんとハロウィーンを祝うのは初めての経験でした。大学企画のイベントに参加したり、友達の家にお邪魔してパンプキンパイを作ったりしました。

- ・ Thanksgiving (11月28日)

これも自分にとっては初めてでした。学校は数日間お休みになり、ミニGWみたいな気分ですね。寮はみな実家に帰ってしまうため閑散としていました(笑)。中間試験後の疲れをとるいい時間でした。

- ・ Christmas

12月に入るとクリスマス関連のイベントが大学で始まるので、イルミネーションを見に行ったり、クリスマスの映画を見たりしました。クリスマスの週はもう冬休みに入っていたので、友だちとプレゼント交換をするなどしてとても楽しい時間になりました。

大学のあるミルウォーキーの外へ出た経験としては、

- ・ Chicago

ミルウォーキーから最も近い大都市だと思います。寒くなる前にとということで、10月に急いでワンデイトリップをしました。が、1日では回り切れなかったのでまた機会があったら来たいですね。

- ・ Madison

いろいろな大学の Asian Student Union (学生団体) が集まるカンファレンスが近くの Madison という町であるということで、参加させてもらいました。文字通りいろいろな人と出会う機会があり、初めて、「英語を使ってコミュニケーションしているな」と思えました。忘れられない経験です。

課外活動として参加していたのは、

- ・ Astronomy club

宇宙に興味のある学生が週1回集まって、論文やニュースを紹介したり、ゲストスピーカーの講演を聞いたりするという集まりです。

- ・ Asian Student Union (ASU)

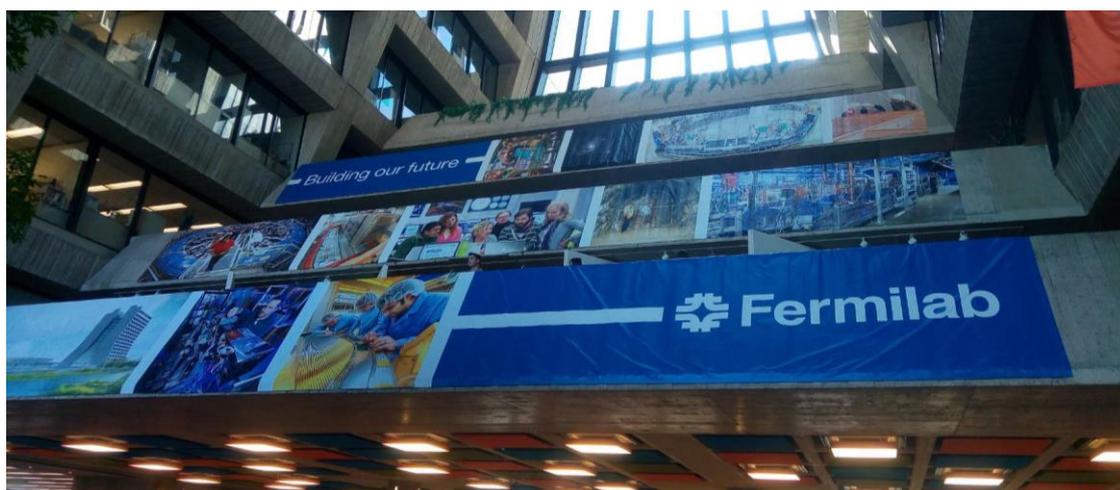
このコミュニティではたくさんの友達に出会いました。定期的なミーティングに加えて、さまざまなイベントをホストしています。

総じて、ここでの生活は徐々に良いものになってきた気がしています。日本にいるときよりも一人で自由に使える時間が増え、生活にもゆとりができました。春学期はこのゆとりを大切にしつつ、帰ったあとのことも見据えて時間を使いたいです。

残り五か月ですが、自分の持っていない、クールだと感じるものは積極的に取り入れて成長できたらと思います。



カンファレンス (UWM のメンバーと)



Fermilab! (Astronomy club の Field trip)

海外派遣留学プログラム報告書

(報告期間：2020/01/01 ～2020/08/31 <最終月>)

1. 勉学の状況

後期の科目は履修登録したものが5科目15単位、聴講が1科目、と前期よりも少し減りました。せっかくだから、英語や物理以外の科目も取ってみようということで、Webデザイン入門のクラスをとりましたが、予想以上に楽しかったです。前回の報告書で触れた Undergraduate Research も履修登録することができ、コロナで早期帰国した後もオンラインで8月末までミーティングを続けさせてもらいました。研究はなかなか思うようにいかないことが多かったのですが、活動を通して英語での議論やプログラミングの能力は向上したと思います。最後まで指導して下さったお二方には本当に感謝しています。

コロナで日本に帰ってきたあともオンライン授業は続きました。どのクラスの先生も日本から参加するということに気を使って下さったおかげで、最後まで単位を取り切ることができました。(私一人のために現地時間夜にテストをセットアップしてくれた!) 総じて UWM で受けた授業はどれも、先生の念入りな準備を感じることもできる、質の高いものでした。不思議と授業を受けている側も気合が入る気がします。残念ながら、このタイミングでの海外大学院進学は見送ることになってしまいましたが、今後日本でもこのときのモチベーションを大切にしていきます。

2. 生活の状況

年越しは Chicago で花火を見ました。車を持ってる友達が連れてってくれたのですが、道中7人がせまい車内にぎゅうぎゅう詰めになっていたなあと懐かしくなりました。

前期はいろんなイベントに参加するようにしてたので、どちらかというと浅く広くの交友関係でしたが、後期はこの旅行をはじめ、特定の友達と長い時間と一緒にいることが多くなった気がします。たくさんいろんなことを話しました。よい思い出ですね。

噂の通り冬は寒くて、現地で上着を購入しました。雪用ブーツは買いませんでしたが、なくてもなんとかなりました。でも、暖かいしおしゃれなので、帰りの荷物に余裕があるなら1つ持っておいてもいいのかなというのが個人的な感想です。

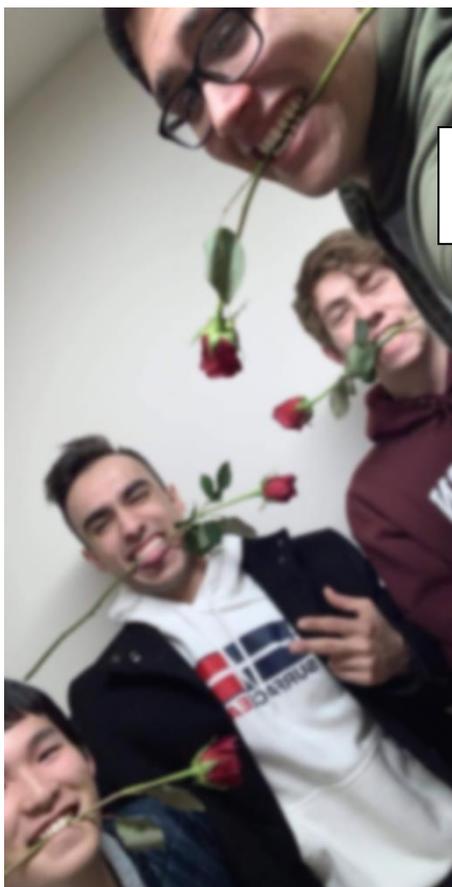
冬休みは1月中旬までだったのですが、最後に LA へ友達に会いに行きました。(費用を抑えたかったので、) 空港へは夜到着し、そこから待ち合わせ場所へ行くのにメトロを使ったのですが、女性一人での利用は避けたほうが良いと感じました。自分は携帯の SIM を購入してなかったので使えなかったのですが、Uber などのタクシーサービスを利用したほうが良いよとあとで友人からも言われました。幸い大きなトラブルもなく、観光地を回ることができました。同じ都会でも東京とはやっぱりちょっと違いますね。あと、西海岸はとにかく

くあったかいです (笑)。

3月中旬ごろ、コロナはあつという間にアメリカを飲み込み、授業はオンラインに移行しました。寮生やキャンパス近くに住んでいる学生も多くは実家に帰ってしまいました。初めは最後までやり遂げたいという気持ちが大きかったのですが、4月の頭に日本に帰国しました。

3. まとめ

留学のことを一言で誰かに伝えようとする、「楽しかった」になってしまいます。一日一日が新しい刺激の連続で、とても言葉では尽くしきれない素敵な時間でした。これを書きながら振り返ってみると改めて、この留学は出会った人々が作り上げてくれてたんだなあと感じます。学業のための留学と思い込んでいた渡米前の自分には、笑ってピースサインしてあげたい気分です (もちろん、勉学のほうも頑張りましたけど)。想定外の形で終わってしまいましたが、いつかお世話になった人たちが日本に来た時には、たっぷり恩返ししたいと思います。



← バレンタインデーの夜、
同じフロアで共同生活をする suitemate たちと。



LAにある Griffith 天文台で Einstein 先生と。 →
自分の専攻が宇宙物理なので、興奮しました笑